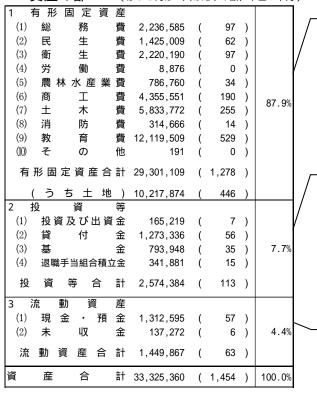
# バランスシートから、どんなことがわかるのでしょうか

バランスシートの見方ですが、表の借方(左側)に取得した資産の年度末残高を計上し、貸方(右側) には、それらの資産の取得にあたって充当された財源が示されています。今までに、税金や地方債など によってどのような資産が形成されたのか、また、そのためにどのくらいの負債(借金)があるのかが わかります。それでは、16年度末のシートを例に、項目ごと見てみましょう。

#### 資産の部 (かっこ内は1人あたりの額、単位:千円)



平成16年度末 町の普通会計の資産(財産)の総額は、 333億2536万円(1人あたり 約145万円)です。

- 1. 有形固定資産(取得原価主義により評価しており、時価評 価とは異なります)
  - ・学校、保育園、清掃センター、道路などの建設的な事業の 総額です。(耐用年数に応じて減価償却をしています)
  - ・有形固定資産のうち、土地の総額は、約102億円 (1人あたり 約45万円)です。

## 2. 投資等

- ・投資および出資金は、関係団体への出資金などです。 主なものには、諏訪広域連合「ふるさと市町村圏基金」 下諏訪町土地開発公社への出資金等があります。
- ・貸付金には、主に下諏訪町温泉事業特別会計への繰出金を 貸付金として計上してあります。
- ・基金は、学校や保育園建設等のための貯金です。
- ・退職手当組合積立金は、組合の保有する基金を案分して 町の持ち分を算出しています。

#### 3.流動資産

- ・現金、預金は、手持ちの現金のほか財政調整基金と減債基 金のように財源の不足に対する基金も含まれています。
- ・未収金の主なものは、町税の滞納分です。

# 負債の部

1 🛭	1 定	負	į	債					
(1)	地	方		債	7,992,451	(	349	)	,
(2)	債 務	負 担	!行	為	0	(	0	)	l /
(3)	退職約	合与引	引当	金	1,539,611	(	67	)	28.6%
固	定負	債	合	計	9,532,062	(	416	)	
2 第	1 動	負	į	債					
(1)	翌年度	賃賞還	予定	額	966,972	(	42	)	
(2)	翌年度	0	(	0	)	2.9%			
流	動負	債	合	計	966,972	(	42	)	
負	債	合		計	10,499,034	(	458	)	31.5%

#### 平成16年度末 町の普通会計の負債の総額は、

104億9903万円(1人あたり 約46万円)程です。

### 1.固定負債

- ・地方債は、町の資産を取得するために銀行等に借金してい るお金の残金です。
- ・次年度(H17年度)に返済する分は、 2 流動負債(1)翌年度償還予定額に計上されています。
- (平成16年度末の町の借金の総額は、上記の合算額 7,992,451+966,972=8,959,423 千円になります。)
- ・退職給与引当金は、年度末に普通会計の全職員が退職した と想定した場合に必要となる金額です。(下諏訪町の場合、 退職手当組合に加入しているため、実際は町の債務はあり ませんが、組合等に加入していない団体と整合を図るため 計上することになっています。)

# 正味資産の部

T 4424 T 1										
1	国	庫	支	出	金	1,287,391	(	56	)	
2	県	支	Z	出	金	632,674	(	28	)	
3	-	般	財	源	等	20,906,261	(	912	)	68.5%
Œ	味	資	産	合	計	22,826,326	(	996	)	

# 正味資産

- 正味資産は、町の普通会計の資産のうち、すでに国・県や税 金等を使って取得した財産の総額です。
- ・国、県支出金は、学校、保育園、清掃センター、道路など の資産にあわせて償却してあります。
- ・下諏訪町の実質的な正味資産は、約228億2633万円 (1人あたり 約100万円)となります。